

スーパーフェンスα ウッドフェイス

取付説明書

< H26、H28、H30 タイプ用 >

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
商品の施工につきましては、製品を正しく安全にご利用いただきますよう必ずこの取付説明書の内容をご理解いただき、施工とご使用をお願いいたします。
また、施工後も大切に保管し、メンテナンスの際などにご参照ください。

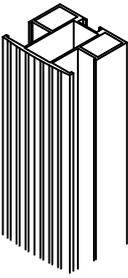
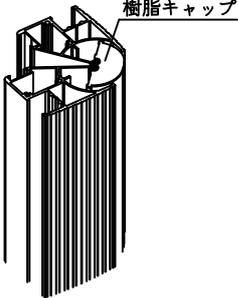
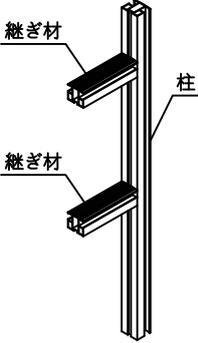
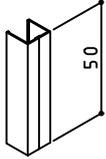
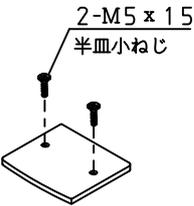
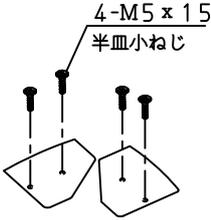
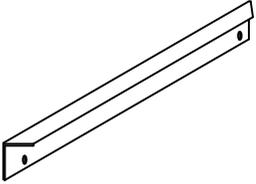
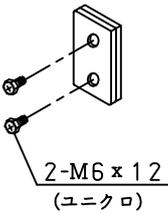
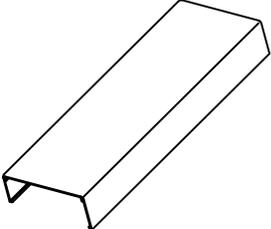
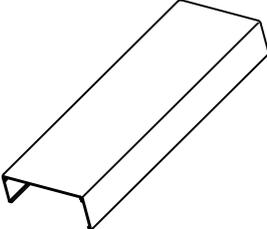
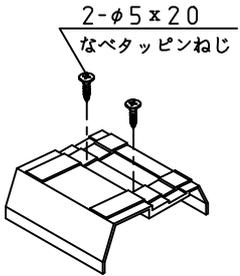
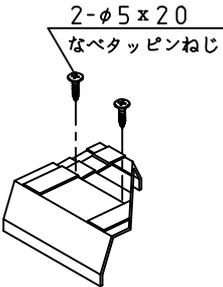
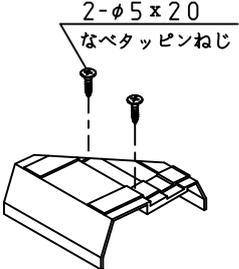
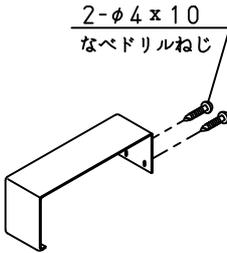
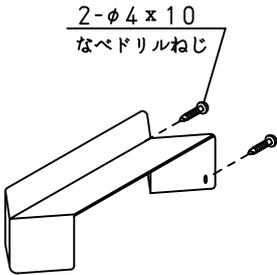
施工上のご注意

- 製品が寸法通り、設置場所に納まることを確認してください。
- みだりに製品の改造・変更を行わないでください。
- 柱の埋め込みは、現場の状況(軟弱基盤等)により、基礎の大きさを考慮してください。
- 付属部材の取付けの際は締め過ぎにご注意ください。電動ドライバーをご使用の際は低速回転で締め付けてください。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。
- 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- 天然木の板材は多少の水分を残した状態で出荷しております。
現地での急激な乾燥は、割れや反りの原因となりますので、仮置きの際はシート等で覆って保管していただきますようお願いいたします。

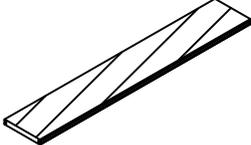
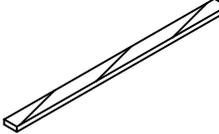
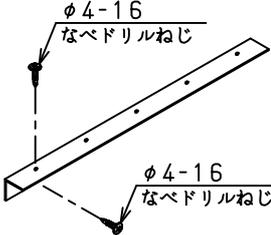
使用上のご注意

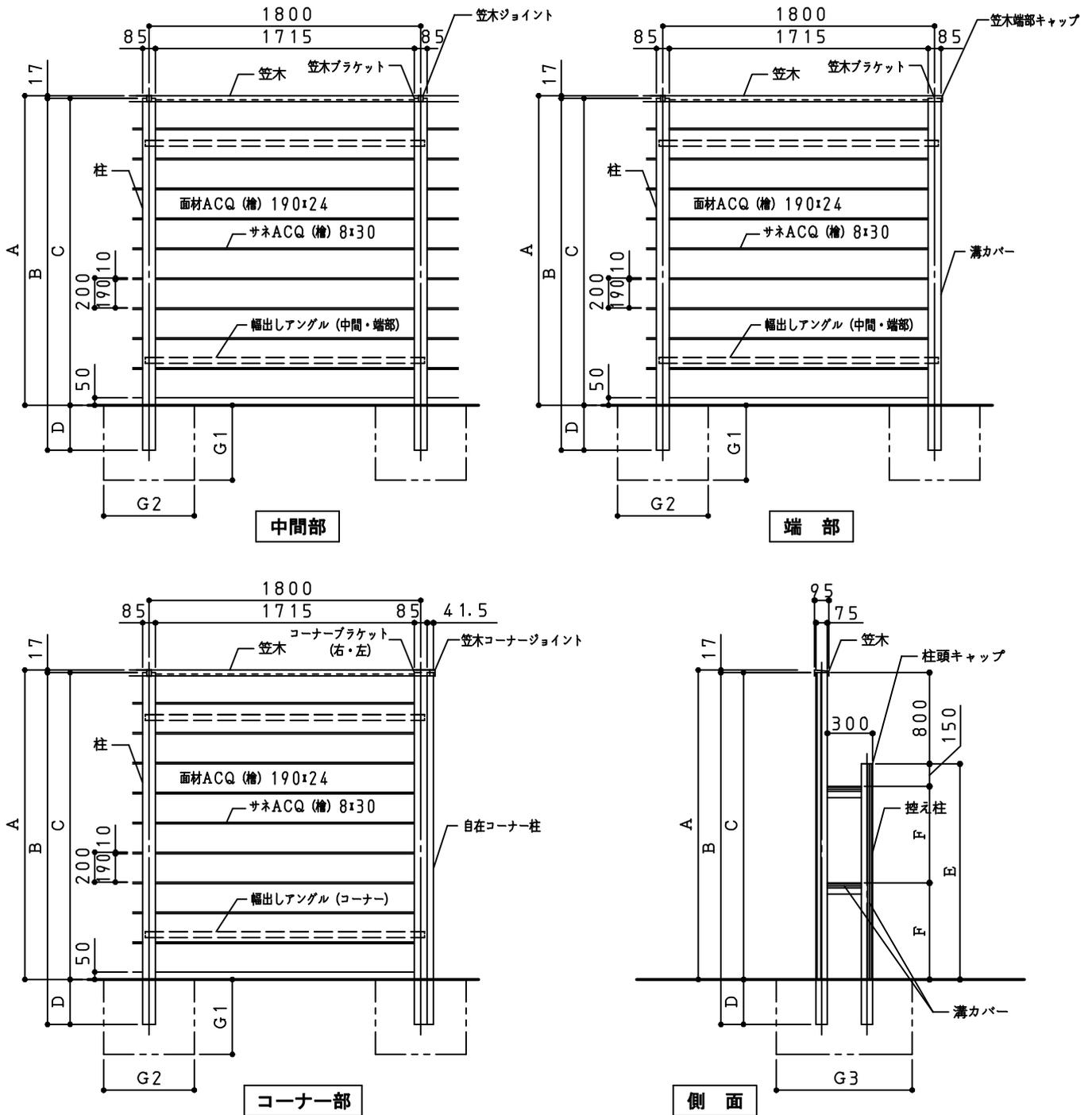
- 上に乗ったり、揺すったり大きな衝撃をあたえないでください。思わぬ怪我をする危険性や、製品が破損する恐れがあります。
- 板材は天然木を使用しているため、割れや反りが生じる場合がございますが予めご了承をお願いいたします。

部品名称 (1 / 2)

中間・端部柱	自在コーナー柱	控え柱	かさ上げ金具
			
溝カバー	柱頭キャップ (中間・端部)	柱頭キャップ (コーナー)	幅出しアングル (中間・端部/コーナー)
			
裏板ビスセット	笠木 (中間)	笠木 (端部・コーナー)	笠木ブラケット
 <p>2-M6 x 12 (ユニクロ)</p>			 <p>2-φ5 x 20 なべタッピンねじ</p>
コーナーブラケット (右)	コーナーブラケット (左)	笠木ジョイント	笠木コーナージョイント
 <p>2-φ5 x 20 なべタッピンねじ</p>	 <p>2-φ5 x 20 なべタッピンねじ</p>	 <p>2-φ4 x 10 なべドリルねじ</p>	 <p>2-φ4 x 10 なべドリルねじ</p>

部品名称 (2 / 2)

笠木端部キャップ	フェンス板材 (ACQ)	フェンス板サネ (ACQ)	板材押えアングル
 <p style="text-align: center;">2-φ4×18 なべタッピンねじ</p>			 <p style="text-align: center;">φ4-16 なべドリルねじ</p> <p style="text-align: center;">φ4-16 なべドリルねじ</p>



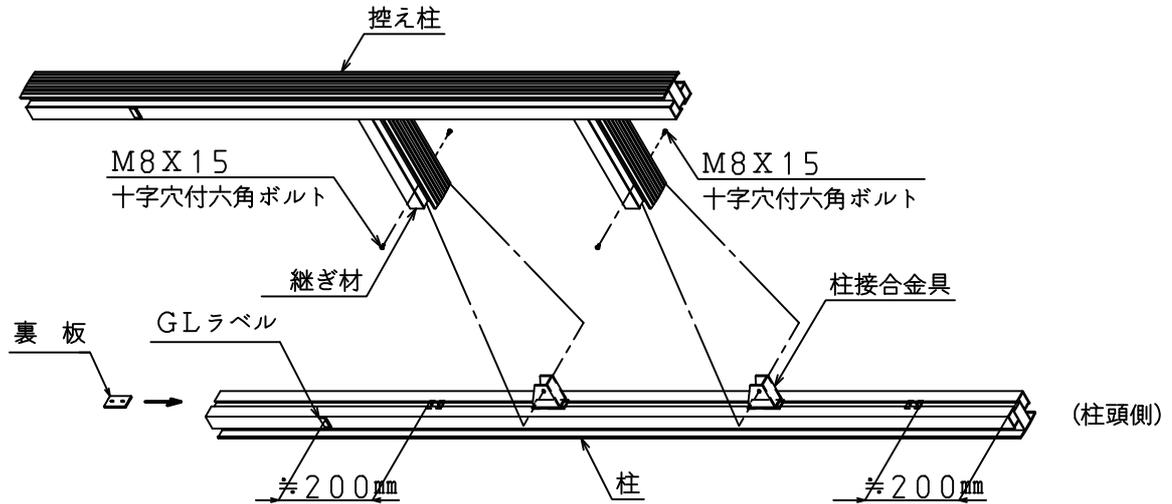
H26	2667	3200	3050	2650	550	13	13	1850	850	2400
H28	2867	3450	3300	2850	600	14	14	2050	950	2650
H30	3067	3700	3550	3050	650	15	15	2250	1050	2900
サイズ	A	B	B-150	C	D	枚数	本数	E	F	E+D
Hタイプ	GL-笠木天	柱長さ	柱補強材	GL-柱天	柱根入れ寸	ACQ (楯)	サネACQ	控柱高さ	継材ピッチ	控柱長さ

H26	—	700	500	800
H28	—	750	500	800
H30	2850	800	500	800
サイズ	E+D-50	G1	G2	G3
Hタイプ	控柱補強材	独立基礎サイズ		

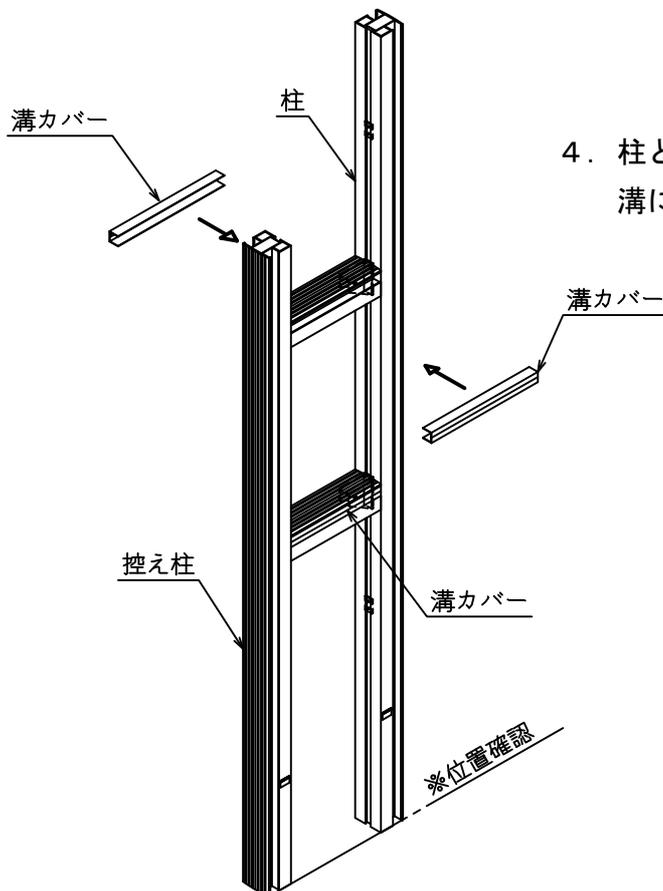
2

柱と控え柱の取付け

1. 施工前作業として、柱に裏板を2個挿入して下さい。（幅出しアングル取付け用）
柱頭側≒200mmの位置、GLラベル位置から≒200mmの位置。
2. 控え柱は柱に先付けします。
控え柱の継ぎ材を柱接合金具に取付けます。



3. 柱と控え柱の取付け後にGL側の下端がそろっていることを確認してください。



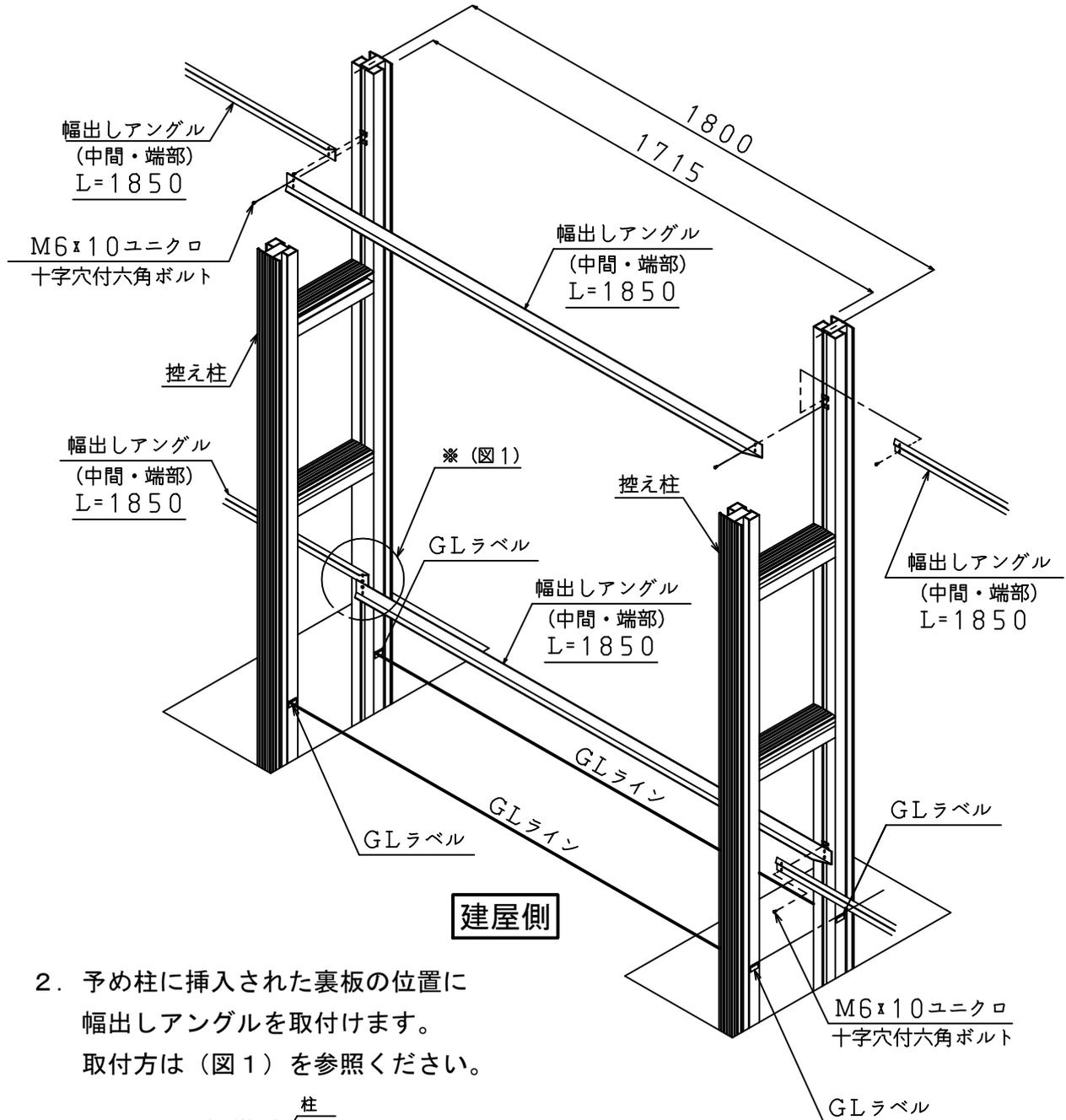
4. 柱と控え柱の取付け後に、継ぎ材の溝に溝カバーを押込んで嵌め込みます。

3

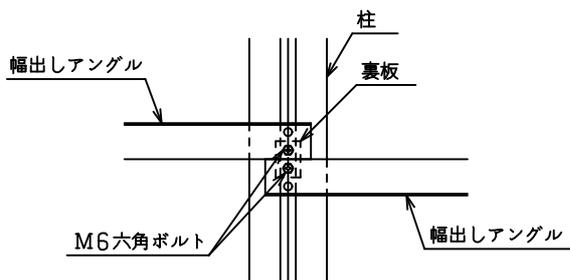
柱と幅出しアングルの取付け

- 幅出しアングルは、柱のW寸と柱の出入りを正確に出す為の補助として、打コン前に取付けます。

※中間・端部用のアングル長さはL=1850mmを使用します。



- 予め柱に挿入された裏板の位置に幅出しアングルを取付けます。取付方は(図1)を参照ください。

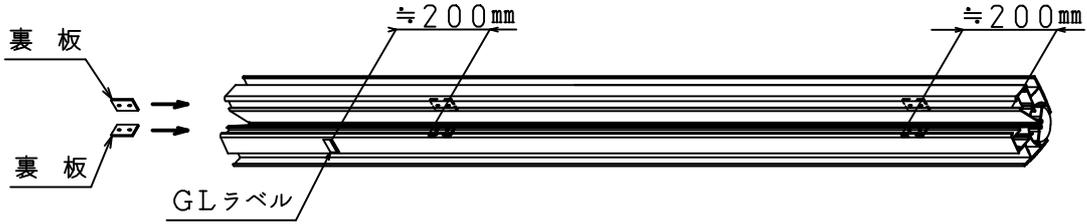


(図 1)

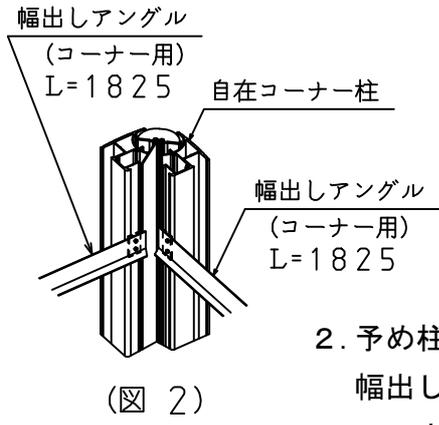
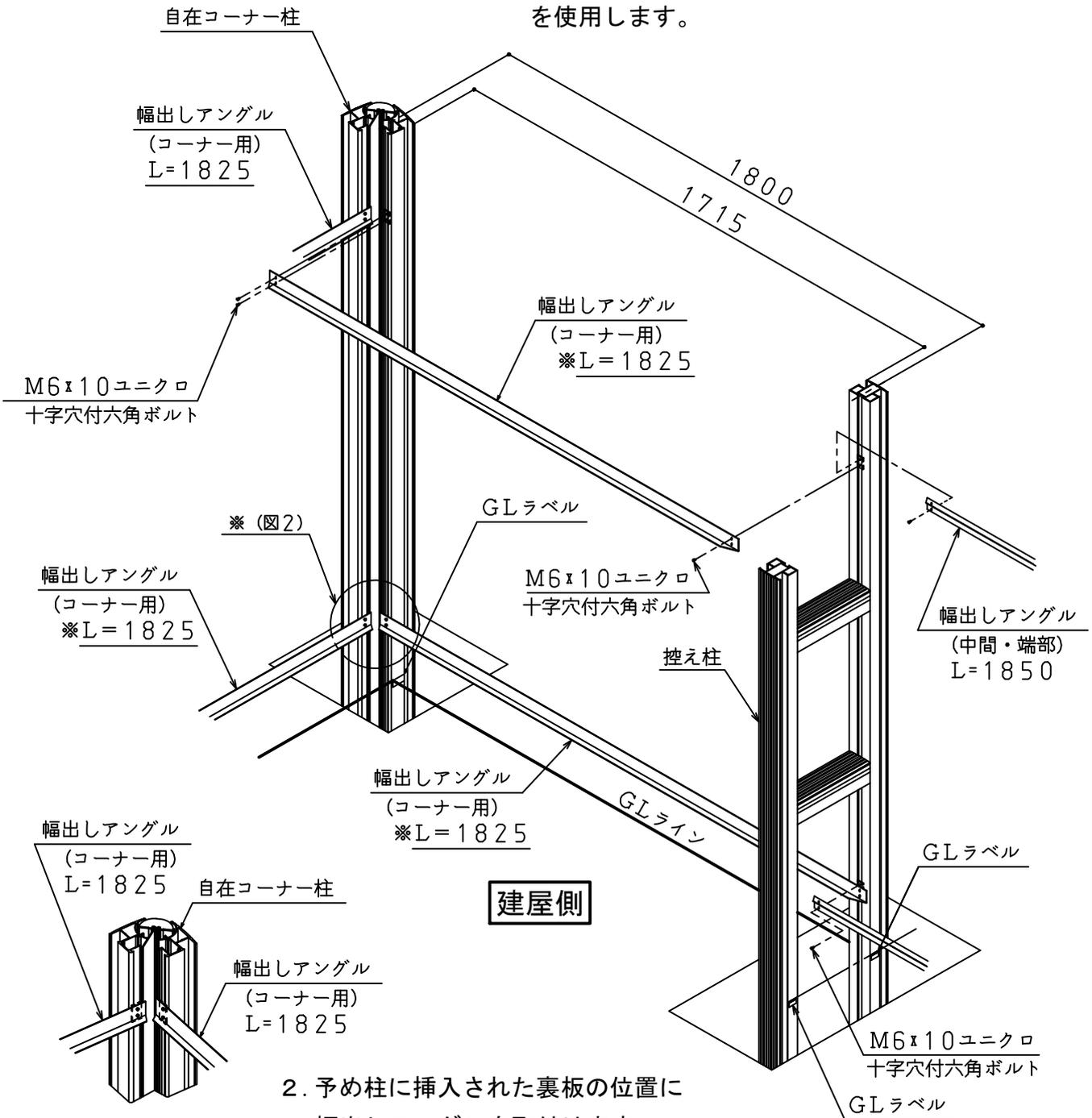
4

柱と幅出しアングルの取付け（コーナ一部）

1. 施工前作業として、コーナー柱に裏板を4個挿入して下さい。
柱頭側≒200mmの位置、GLラベル位置から≒200mmの位置。



※コーナー用のアングル長さはL=1825mm
を使用します。



(図 2)

2. 予め柱に挿入された裏板の位置に幅出しアングルを取付けます。
コーナー部の取付方は(図2)を参照ください。

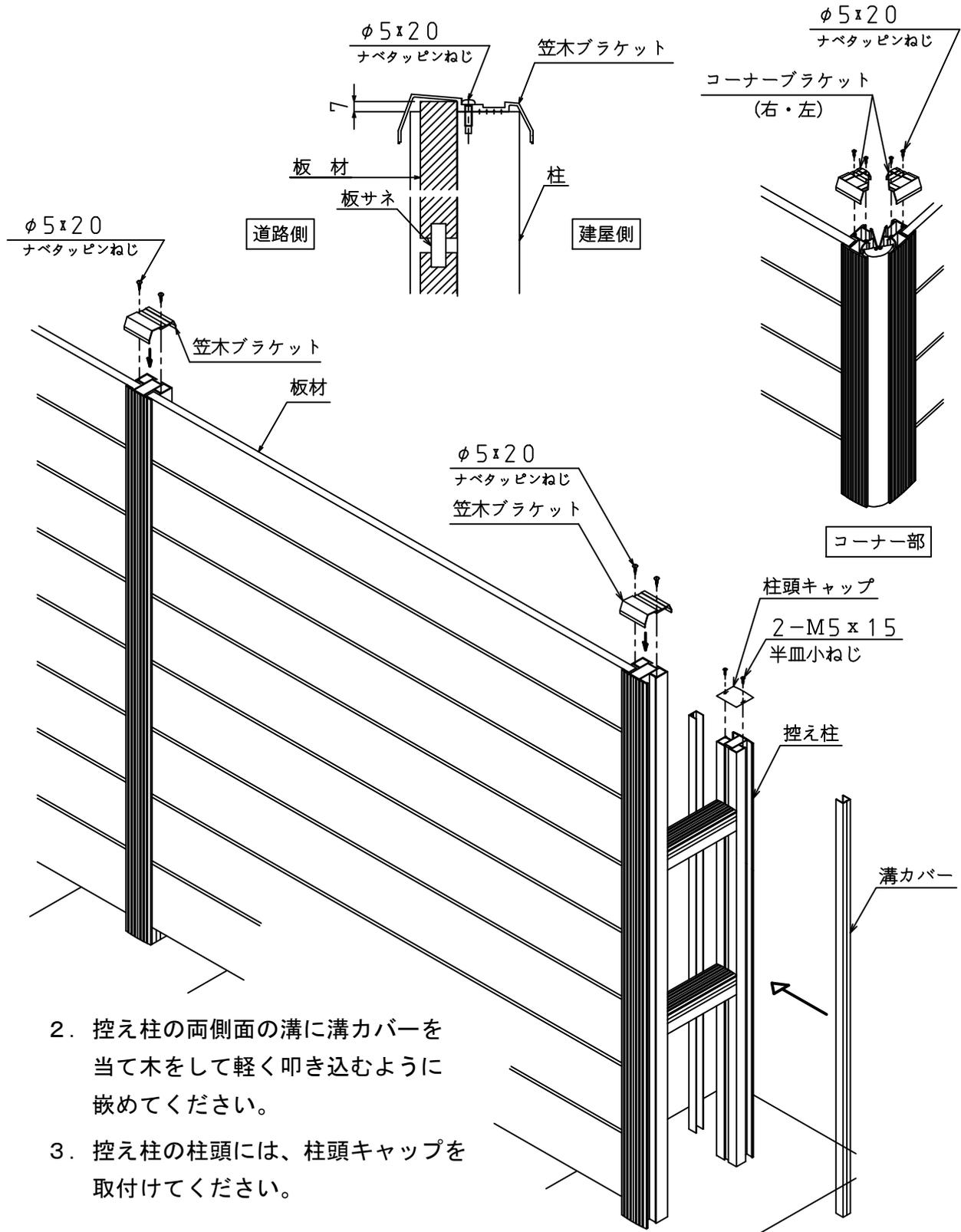
6

笠木ブラケットの取付け

1. 柱の頭部に、ガタツキがないよう笠木ブラケットを取付けます。

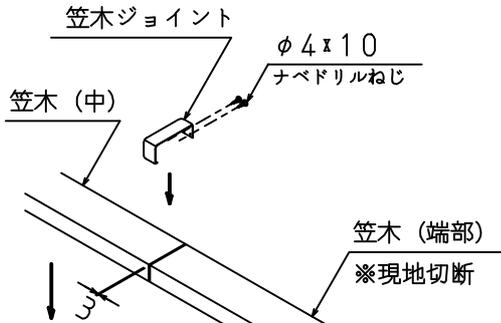
柱上部より、板材が出る場合は、板材と板サネの挿入が確実にできているか目地幅を確認して下さい。(目地幅10mm)

※柱頭から板材が、最大7mm以上出の場合は、笠木ブラケットと柱の間にスペーサーを(平座金等)入れて高さ調整して下さい。

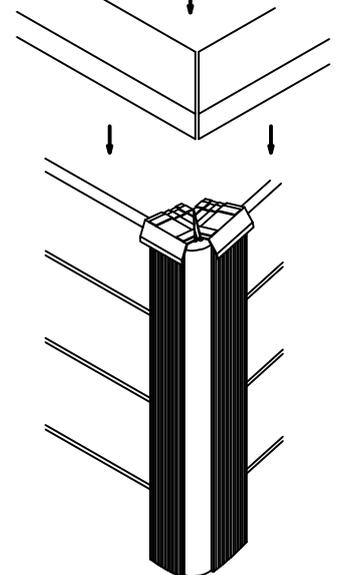
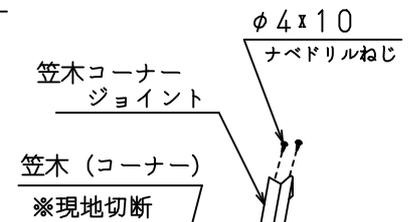
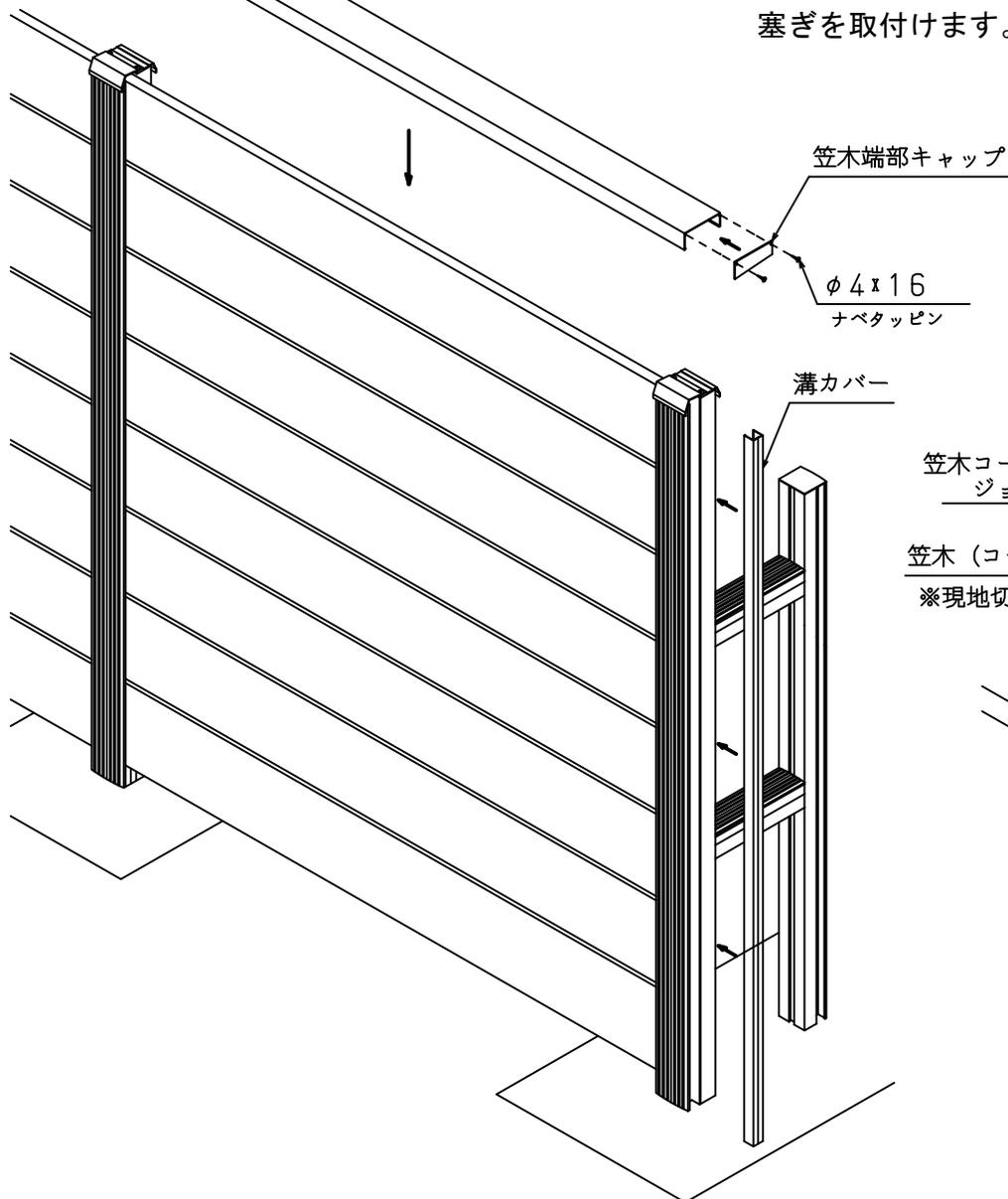


2. 控え柱の両側面の溝に溝カバーを当て木をして軽く叩き込むように嵌めてください。
3. 控え柱の柱頭には、柱頭キャップを取付けてください。

1. 柱が端部にくる場合は、先に溝カバーを柱の溝に当て木をして軽く叩きこむように入れてください。
2. 笠木を柱の芯-芯間に来るように、笠木ブラケットの上からパチンと音がするまで嵌め込みます。位置の調整は笠木を横にスライドさせて行います。笠木と笠木の間は3mmが設計寸法です。
3. 次に笠木を笠木ジョイントで固定します。道路側から、ジョイントのツメを笠木に引っ掛けるようにかぶせて取付けます。



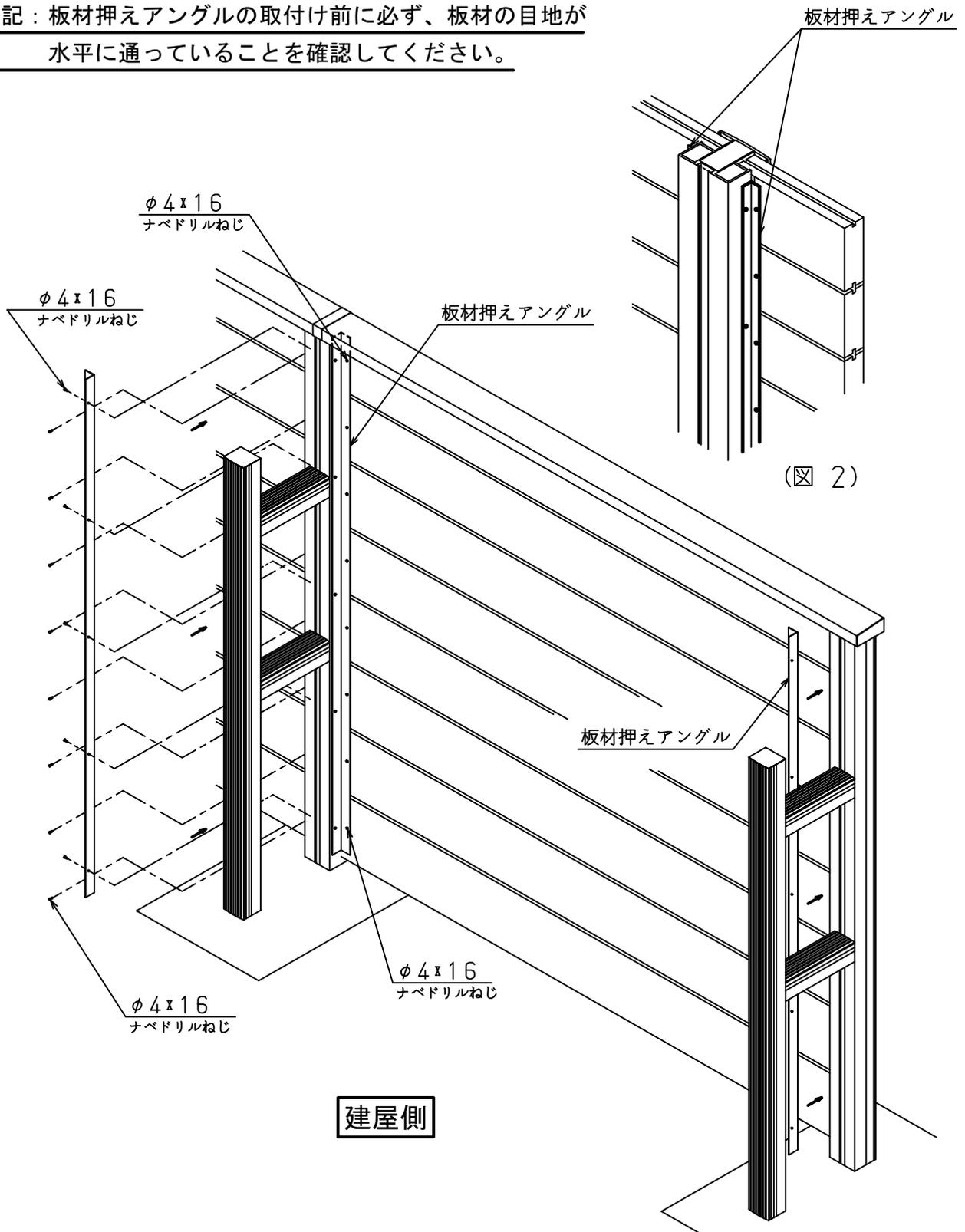
4. 笠木の端部には、笠木端部塞ぎを取付けます。



コーナー部

- フェンスの取付けがすべて終わりましたら、板材押えアングルを取付けます。
建屋側の柱面と板材の角隅に取付けます。（図2）参照
必ず、板材側には板材の中央付近にビス1本が止まるように板材押えアングルの向きを合わせてください。

注記：板材押えアングルの取付け前に必ず、板材の目地が水平に通っていることを確認してください。



●施工終了後、この取付説明書は施主様へお渡しください。

Empty rounded rectangular box for additional information or notes.

●製品の仕様は、予告なしに変更する場合がございます。



港製器工業株式会社